

作成：田中副会長（2025 年 7 月 23 日）
メールによる理事会の確認（2025 年 7 月 27 日）

大阪市立大学共生社会研究会
2025 年度定期総会 議事録

● 開催概要

- ・ 2025 年 7 月 13 日（日）19 時～20 時 30 分（オンライン開催）
- ・ 会員総数 23 名中、16 名参加、委任状提出 5 名：総会成立
（会則第 8 条：総会は個人会員総数の 2 分の 1 の出席または委任状によって成立する）

● 議案：各議案内容はウェブサイトで閲覧可

第 1 号議案：2024 年度事業報告 / 第 2 号議案：2024 年度会計報告 / 第 3 号議案：
2025 年度事業計画 / 第 4 号議案：2025 年度予算案 / 第 5 号議案：理事・監事の選出

● 総会進行

- ・ 開会：司会進行・田中副会長
- ・ 開会の辞：柏木会長
- ・ 総会議長選出：柏木会長（異議なし）
- ・ 議案審議、その他
- ・ 閉会の辞：田中副会長

● 議事録要旨

① 第 1 号議案：2024 年度事業報告

1. 全体総括報告（柏木会長）
→ 質疑応答なし、承認
2. 企画担当理事報告（堅田理事）
→ 質疑応答なし、承認
3. 会員管理担当理事報告（池田理事）

池田理事：業務実績報告に加え、課題として最新の会員の把握が困難。どのようにすべきか、会員名簿、会員管理規定の作成に向けて検討中と報告

質疑応答：現在、会員への連絡は誰が行っているのか

→ 柏木会長：ウェブサイトを通じて入会申し込みを受けて、会計担当理事が入金を確認して入会確認。会員への連絡は、それぞれの担当理事が必要に応じて対応。会員管理担当・会計担当・IT 担当間の情報共有による会員管理体制の整備の必要性を確認

→ 質疑応答後、承認

4. 編集担当理事報告（武輪理事）

武輪理事：業務実績報告に加え、査読論文投稿規定を検討中と報告

質疑応答：ニューズレターへのアクセス方法は → ホームページで閲覧可

→ 質疑応答後、承認

5. 広報担当理事報告（藪田理事）

→ 質疑応答なし、承認

6. IT 担当理事報告（古山理事）

→ 質疑応答なし、承認

② 第 2 号議案：2024 年度会計報告

会計担当理事報告（古久保理事）

質疑応答

・未払い金の内容は → 前・全会長逝去による弔電・供花の立替金、3 月末段階では未払い（2025 年度予算に計上）

・いつ入金されたのか → 2025 年 7 月上旬に支払い

・ズーム・ホスト経費の計上は → 2025 年度予算に計上

・立替払いの対応を迅速に行うべきとの指摘

→ 質疑応答後、承認

③ 第 3 号議案：2025 年度事業計画

1. 全体事業計画・総論説明（柏木会長）

→ 質疑応答なし、承認

2. 企画担当理事・事業計画説明（堅田理事）

→ 質疑応答なし、承認

3. 会員管理担当理事・事業計画説明（池田理事）

質疑応答

・会員管理規定の検討については、担当理事を中心にやり方も含め今後検討（柏木会長、田中副会長）

・会員情報は、個人情報保護を踏まえ、~~の~~管理の一元化が必要との指摘

→ 現在、会員管理システムは「名前・メールアドレス」をウェブサイトから入力してもらい、会計担当理事が入金日を確認後、会員リストに記載。役員間の連絡は CC、会員へは BCC で実施（柏木会長）

→ 質疑応答後、承認

4. 編集担当理事・事業計画説明（武輪理事）

→ 質疑応答なし、承認

5. 広報担当理事・事業計画説明（藪田理事）

→ 質疑応答なし、承認

6. IT 担当理事・事業計画説明（古山理事）

質疑応答

- ・ズーム費用「40,000 円/年」が必要、予算化は → 「20,000 円/年」を計上、不足分は予備費充当や補正予算で対応（柏木会長、古久保理事）
- ・個人情報保護を踏まえた会員管理規定作成のための委員会設置の必要性が会員から提起 → 会員管理に関する呼び掛けを理事に行ったが、反応がない（会員管理担当理事）→ 会計管理担当理事からの提案をもとに、理事間で協議検討が必要（柏木会長）

→ 質疑応答後、承認

④ 第 4 号議案：2025 年度予算案

会計担当理事・事業計画説明（古久保理事）

質疑応答

→ 質疑応答なし、承認

⑤ 第 5 号議案：2025 年度理事・監事の選出

柏木会長・説明：2024 年度理事・監事に意向確認、立候補募集の結果、以下の通り

- ・会長：柏木宏（再任）、副会長：田中逸郎（再任）、会計担当理事：矢野裕子（再任）、企画担当理事：堅田利明（再任）、金谷千慧子（新任）、会員管理担当理事：池田和代（再任）、編集担当理事：武輪敬心（再任）、広報担当理事：薮田雪子（再任）、IT 担当理事：古山陽一（再任）・宮本年也（再任）、監事：山崎真嗣（再任）
- ・2024 年度末で退任：会計担当理事：古久保さくら、広報担当理事：石井信夫、会員管理担当理事：中村晶子、監事：向健二

質疑応答：理事になるための要件・規定はあるのか → 会則上、会員であればだれでも応募可（柏木会長）→ 今後より具体的な規定を設けること求める意見が出され、検討していく旨を共有

→ 質疑応答後、承認

⑥ その他

なし

議長解任

閉会の辞：田中副会長

大阪市立大学共生社会研究会
2025 年度総会

第 1 号議案 2024 年度事業報告

1 全体総括（正副会長報告）

2024 年度は、6 月に総会（対面）を行い、23 年度の事業報告と会計報告、24 年度の事業計画と予算案が承認された。しかし、役員・理事の選出については、会長以外は 11 月までの任期となった。これは、各役員や理事の職務が明確でなかったことや、募集期間の確保ができなかったなどのためだ。このため、年末に改めて総会（臨時総会）を行い、役員・理事の選出などを行うことになった。2024 年 12 月に開催された臨時総会（オンライン）の結果、職務明細に基づく業務を実施する意思を確認後、副会長、会計・企画・会員管理・編集・広報・IT の各担当理事と監事の選出が行われた。任期は、2025 年総会が予定される 6 月頃までとされた。

臨時総会后、2024 年度の残りの期間と 25 年度総会までの間に、研究会の事業は進展をみせた。企画担当によるシンポジウムと研究グループが実施した交流会に加え、編集担当によるニュースレターが 2 回発行（25 年 1 月と 4 月）され、紀要の発行に向けた体制も 26 年総会時をメドに進められている。一方、運営面では、フェイスブックの再開とホームページの開設など、IT 担当を中心に会員向け及び対外的な情報発信体制が整備されつつある。一方、会員募集におけるや広報や会費納入を行う会計との連携体制の明確化や募集業務の進め方や会員の目標数などは、明確になっておらず、25 年度の課題とした。また、事業は進展したもの、役員・理事の全体会議の設定ができず、メール稟議による確認で運営体制や事業の実施内容などが進められた。対面による役員・理事会の開催は困難だが、オンライン開催による各担当理事の業務などを相互に意見交換など直接行う体制の確保が求められている。

作成者：柏木宏・田中逸郎

2 企画担当理事報告

1) 担当理事名

堅田利明

2) 主要担当業務

- ・研究会主催シンポ等（年4回程度）の開催
- ・研究会内の研究グループ（SG）の開発支援
- ・業務実施の方針作成：正・副会長らと共同で実施

3) 2024年12月から25年6月までに実施した内容

- ・研究会主催シンポ等の開催

第1回シンポジウムの開催

日時：2025年4月25日（金）19時～21時

司会・講師など：堅田利明、柏木宏、古久保さくら、梁優子の各氏

方法：Zoomによるオンライン

- ・研究会内の研究グループの開発支援

第1回定例交流会の開催支援

開催日：2025年5月15日（木）19時—20時、

方法：Zoomによるオンライン

4) 成果と課題

- ・研究会主催シンポ等

「反 DEI 時代における共生社会研究のあり方、共生社会に向けた「現場」と「研究」の連携の視点」をテーマに、トランスジェンダーとの連携、済州4・3事件から、日米の共生社会、DEIの政策、反対する動きの現状を踏まえ、今後どのように考えていくかを提言し質疑を行った。70名程度の申し込みがあり、当日は50名程度が視聴

- ・研究会内の研究グループ（SG）の開発支援

「定例交流会」の企画を支援。第1回は、古山陽一氏を講師に「インクルーシブなスライド作り」をテーマに実施。130名程度が申し込み、当日は70名程度が視聴

5) その他

シンポジウムの模様を編集、ウェブサイトに掲載。上記の4)に関して、IT担当理事の尽力により、実施済み

作成者：堅田利明

3 会員管理理事報告

1) 担当理事名

池田和代・中村晶子

2) 主要担当業務

- ・会員入会及び退会関係業務
- ・会員情報管理業務
- ・会員名簿作成業務
- ・会員管理規定（素案）作成

3) 2024 年 12 月 11 日～3 月 31 日実施業務

・主に、会員管理規定策定（素案）と今後の会員管理業務の遂行のための打ち合わせ及び情報収集にて活動

- ・会則との連動制、管理規定の中に制定しておくべき項目の抽出・考察
- ・上記の策定の中で必要となる研究会使用様式の作成 等

5) 次年度への業務課題

- ・担当他部署との連携不足のためできていなかった業務の遂行
（現在、会員の連絡先等の情報を管理している理事・会費入金状況を把握している理事）との連携を図り、2024 年度の会員名簿の作成及びそれに関係する手続きの進捗を次年度への業務として確認
- ・会員管理規定の策定において、研究会の運営の現状に対応した会則の見直しの必要性を提起
- ・具体的な担当業務の詳細（項目）を整理する必要性を提起

作成者：池田和代・中村晶子

4 編集理事報告

1) 担当理事名

武輪敬心

2) 主要担当業務

- ・ 正副会長・企画担当らと共同でニュースレター（季刊）の発行
- ・ 正副会長と協力し、査読者と投稿論文の募集
- ・ IT 担当と連携し、紀要（ウェブジャーナル）発行

なお、以上の業務は、以下の方針に基づき、実施

- ・ 正副会長・企画担当らと共同でニュースレター（季刊）の発行
- ・ 正副会長と協力し、査読者と投稿論文の募集
- ・ IT 担当と連携し、紀要（ウェブジャーナル）発行

3) 2024 年 12 月から 25 年 6 月までに実施した内容

- ・ 正副会長・企画担当らと共同でニュースレター（季刊）を発行（全 2 回：2025/1/15, 4/15）。

- ・ 投稿規定・編集規定について、正副会長とアウトラインの検討を実施

4) 成果と課題

- ・ ニュースレターの 2 回の発行を通して、本会の活動が再始動したこと、会員・関係者等の活動動向や訃報を発信することができた。

- ・ 査読者の選考ならびに、投稿規定（日本語以外の論文の投稿の可否の検討）について、理事・正会員とともに議論を深める必要を提起

作成者 武輪敬心

5 広報担当理事報告

1) 担当理事名

石井信夫、薮田雪子

2) 主要担当業務

- ・研究会の広報活動のためのデータベースの作成
- ・会員管理を支援して、会員募集広報
- ・企画の要請に基づき、シンポ等の広報支援
- ・企画の要請に基づくシンポ等の参加者や編集担当の要請により投稿論文の募集支援

3) 2024 年 12 月から 25 年 6 月までに実施した内容

- ・WEB サイトの掲載記事に関する会員への要請

日時：2025 年 6 月 3 日（火）

方法：メール

4) 成果と課題

- ・WEB サイトへの投稿を投げかけることはできたが、時期が遅かった。2025 年度は、定期的に送付する必要を確認

作成者：薮田雪子

6 IT 理事報告

1) 担当理事名

宮本年也、古山陽一

2) 主要担当業務

- ・ 研究会ウェブサイトの制作・更新・運用管理
- ・ 研究会 FB の更新・運用管理
- ・ 研究会 LINE グループチャットの開設・運用管理
- ・ 研究会ユーチューブの開設・更新・運用管理
- ・ オンライン交流会（奇数月）の開催
- ・ 研究会主催イベントをオンラインで開催する際の Zoom 操作支援
- ・ 研究会主催イベントをアーカイブ配信するための動画編集

3) 2024 年 12 月から 25 年 6 月までに実施した内容

- ・ 研究会ウェブサイトの制作・更新・運用管理
2024 年 12 月ウェブサイトの制作開始、2025 年 1 月 15 日（水）公開、以降更新中
- ・ 研究会 FB の更新・運用管理
2024 年 12 月より研究会 FB の再開・更新中
- ・ 研究会 LINE グループチャットの開設・運用管理
2025 年 3 月より研究会 LINE グループチャットの開設、以降更新中
- ・ 研究会ユーチューブの開設・更新・運用管理
2025 年 4 月より研究会ユーチューブの開設、以降更新中
- ・ オンライン交流会（奇数月）の開催
第 1 回定例交流会の開催
開催日：2025 年 5 月 15 日（木）19 時—20 時
方法：Zoom によるオンライン
- ・ 研究会主催イベントをオンラインで開催する際の Zoom 操作支援
第 1 回シンポジウム（4/25）の入退室者の管理等の Zoom 操作支援を担当
- ・ 研究会主催イベントをアーカイブ配信するための動画編集
第 1 回シンポジウム（4/25）の動画編集及び研究会ユーチューブでのアーカイブ配信
第 1 回定例交流会（5/15）の動画編集及び研究会ユーチューブでのアーカイブ配信

4) 成果と課題

- ・ 研究会ウェブサイトの制作・更新・運用管理
5 月 30 日現在、研究会ウェブサイトのセッション数は 1,247、ユニーク訪問数は 829 を記録。最も多い日には、151（4 月 1 日）のセッション数を獲得した。また、ウェブサイトを通じて 3 名の新規入会者を獲得
- ・ 研究会 FB の更新・運用管理

5月30日現在、フォロワー706名

- ・研究会LINEグループチャットの開設・運用管理

5月30日現在、会員7名、定例交流会等に参加された非会員16名の計23名の参加者を獲得。

- ・研究会ユーチューブの開設・更新・運用管理

5月30日現在、2本のアーカイブ配信動画にて計580回の視聴回数を獲得した。チャンネル登録者数は11人

- ・オンライン交流会（奇数月）の開催

「インクルーシブなスライド作り」をテーマに、第一回目を5月15日に実施した。150名を超える申し込みがあり、当日は80名程度が参加した。5月18日にアーカイブ配信を実施し、5月30日現在480回の視聴数を獲得

- ・研究会主催イベントをアーカイブ配信するための動画編集

第1回シンポジウム（4/25）、第1回定例交流会（5/15）の動画編集及び研究会ユーチューブでのアーカイブ配信を実施し、5月30日現在580回の視聴数を獲得

作成者：宮本年也・古山陽一

大阪市立大学共生社会研究会
2025 年度総会

第2号議案 2024年度 大阪市立大学共生社会研究会収支決算報告書及び監査報告

2024年4月1日～2025年3月31日

・収入の部

項目	予算額	決算額	備考
個人会員2024年会費	60,000	48,000	
賛助会員	5,000	0	
団体会員年会費	10,000	0	
寄付	10,000	0	
利子		149	
繰越金	336,126	336,126	
合計	421,126	384,275	

・支出の部

項目	予算額	決算額	備考
総会準備費	30,000	19,110	2024年総会分
研修会費	20,000	0	
zoom契約費	0	0	
運営会議費用	15,000	0	
通信費	5,000	0	未払い110（郵送費）
雑費	10,000	0	未払い24,530（空元会長葬儀花代など）
未払い(2023年度分)	32,440	32,440	総会準備費・会議費等
予備費	308,686		/
繰越金		332,725	
合計	421,126	384,275	

会計：古久保 さくら・矢野 裕子

監事：向 健二

2025年7月11日、監査後、会計に提出

大阪市立大学共生社会研究会

2025 年度総会

第 3 号議案 2025 年度事業計画

1 2025 年度 事業計画（総論）

大阪市立大学共生社会研究会（以下、研究会）の 2025 年度の総会の議題として提出する事業計画（総論）は、会則をベースにしつつ、過去の実績、そして研究会の現状を踏まえ、以下のように提案する。なお、各理事が担当している個別の分野における計画は、別途、担当理事が作成し、理事会によって承認を受け、この（総論）の後に掲載する。

1) 会則の規定の確認

研究会は、会則の次の事業を行うと規定している。

(1) 共生社会に関心を寄せる研究者等に対して、研究会、情報交換・発信の活動の場を提供し、会員相互の交流を図る。

(2) 共生社会研究の発展に寄与する講演・シンポジウム等を開催し、支援する。

(3) 本研究会の活動を活性化するため研究誌等の発行及び出版を行う。

2) 研究会、情報交換・発信の活動の場の提供

・ここでいう「研究会、情報交換・発信の活動」とは、研究会が主催するものだけではなく、会員が関わる大学などの研究機関や NPO など（以下、会員が関わる団体）が実施する活動も含むと定義する。なお、「研究会、情報交換・発信の活動」は、以下のように 4) 研究会が主催する活動、5) 研究会の会員により自主的に行われる活動、6) 他団体が主催する活動に対して研究会の会員の要請に基づき協力するものの 3 つにわけられる。

・Facebook 及びウェブサイトにおいて、会員が関わる団体が主催し、会員が参加できる研究会などの情報を掲載できる仕組みを 2025 年 10 月頃までに整備、周知することで、会員らが積極的な活用できるような体制を築く。

<実施の中心者>正副会長と IT 担当理事

3) 会員相互の交流

・会員の相互交流だけを目的にした活動は、2025 年度には実施しない。

・下記の 4) と 5)、6) の活動を実施する場合は、活動の終了後に、名刺交換を含めた、講師や会員が交流を行う時間を設け、会員の相互交流を促すように努める。

・総会の開催においては、終了後に会員が交流を行う時間を設け、会員の交流を促す。

<実施の中心者>正副会長と IT 担当理事

4) 「講演・シンポジウム等」の開催

・ここでいう「講演」は講師一人による活動や研究成果などを紹介する活動、「シンポジウム等」は複数の講師による活動と定義する。いずれも研究会が主催して実施する。

・2025 年度には、研究会が登録している Zoom を用いて「講演・シンポジウム等」を複数回開催する。

・「講演・シンポジウム等」は、正副会長・企画担当理事を中心として、会員の参加を促しつつ企画、理事会の承認をえて、広報担当や IT 担当も含め、研究会が主体となって広報や当日の作業を行う。

・講師は、会員に限定しないが、原則として謝金の支払は行わない。

・「講演・シンポジウム等」には、共生社会や NPO に関する研究の成果や活動の紹介に加え、研究方法や論文の執筆や査読などに関する方法を提示するものも含まれる。

<実施の中心者>正副会長と企画担当理事・IT 担当理事・広報担当理事

5) 会員の自主的な研究グループによる講演・シンポジウム等

・研究会の会員は、会員を中心に特定のテーマなどに基づく自主的な研究グループ（以下、SG）を設立することができる。設立に当たっては、理事会の承認を受けることが求められる。SG が開催する「講演・シンポジウム等」は、SG の判断で自由に実施することができ、研究会は Zoom の利用や広報などの支援を可能な範囲で提供する。

<実施の中心者>SG の責任者

6) 「会員関連講演等」の開催支援

・会員は、会員が関わる団体による研究や活動の成果を発表する講演・シンポジウム等（以下、「会員関連講演等」）の開催への支援を研究会に要望することができる。会員からの要望は、理事会に文書で提出され、理事会から承認を受ける。ただし、研究会による支援は、Facebook への掲載などの広報支援や後援名義の提供などに限定する。

<実施の中心者>研究会に要請を求める会員

7) 研究誌等の発行及び出版

・2025 年度の研究誌（紀要）の発行は見送るが、発行の PR を兼ねたイベントを 2025 年 10－12 月の間に開催する。

・紀要の発行については、2026 年度初頭にウェブジャーナルの発行を想定し、体制整備を進める。体制整備には、査読者を含めた「編集委員会」の委員の確保と委員会の設立、投稿規定などの策定、投稿論文の募集などが含まれる。

・論文・研究ノート・活動報告・著書などの会員による研究や活動成果は、会員の求めに応じて、2025 年度中に、2) で示した Facebook に概要、ウェブサイト可能な場合は前文を掲載できるようにする。

<実施の中心者>正副会長と編集担当理事

作成者 柏木宏・田中逸郎

2 2025 年度 企画担当業務 事業計画書

1) 業務名

企画

2) 担当理事名

堅田利明

3) 実施計画

- ・正副会長らと共同で、四半期に 1 回をメドに研究会主催のシンポジウム等の開催
- ・「定期交流会」の研究活動の開催支援
- ・研究会内の研究グループ（SG）による研究発表活動の開発支援

4) その他

作成者：堅田利明

参考資料：企画担当から活動実施における方針

研究会は、2024 年 7 月 14 日、「大阪市立大学共生社会研究会役員（理事）の構成と職務明細（案）」を作成。研究会の事業に関する業務の概要と担当者について、以下のように決定した。これにベースに今後の実施方法を検討、案としてまとめた。

研究会の事業に関する業務の概要と担当者において、企画担当理事の業務を以下のように規定

- ・情報交換・発信の活動の場の提供
- ・会員相互の交流
- ・講演・シンポジウム等の開催
- ・講演・シンポジウム等の支援

この決定内容に基づき、企画担当が実施する活動を研究会主催の講演・セミナーと研究会内の自主研究グループ（SG）に大別、前者を企画担当の責任で実施、後者を企画担当が支援していくことにした。なお、両者の概要は、以下ようになる。

	研究会主催事業	SG 開催事業
内容	共生社会や NPO に関する研究報告・活動報告・出版記念など	各 SG の研究テーマに関する研究報告・活動報告・出版記念など
実施の認可	会員の中請又は企画担当の企画を受付順に理事会に報告、認可後、開催	各 SG の自主的判断で実施可。企画担当理事を通じて、理事会に事前報告
実施回数	総会時を除き、年 4 回程度。ただし、時事的な内容など、緊急性の高いものは、別途開催可	各 SG の自主的判断で実施可
講師選定	企画申請会員または企画担当が決定	各 SG が決定
謝金	なし	各 SG の自己負担であれば支払い可能
研究会の支援	広報：Web、Facebook、会員通知などを広報担当が協力 Zoom：利用可	広報：Web、Facebook、会員通知などを SG が自主実施 Zoom：利用可
その他	Zoom の記録を IT 担当が編集、Web などで公開	Zoom の記録の編集や公開は、IT 担当の了解や SG が独自に実施すれば可
参加者	総会時は原則として会員のみ。その他は、一般公開。なお、参加者リストを実施者が作成、会員管理や広報担当に送付、後の広報に活用	一般公開の可否を含め、各 SG が判断 なお、参加者リストを実施者が作成、会員管理や広報担当に送付、後の広報に活用

作成者：堅田利明

3 2025 年度 会員管理担当事業計画

1) 担当業務名

会員管理

2) 担当理事名

池田和代 中村晶子

3) 実施計画

- ・ 会員入会及び退会関係業務

規定に沿った業務（入会に関しての手続き）が実施できるように業務を進捗。

- ・ 会員情報管理業務

規定に沿った業務が実施できるように会員の情報管理をする。

- ・ 会員名簿作成業務

関係担当との連携を図り会員名簿の作成をする。

会計担当者から、会費の入金状況の定期的報告を受ける。

シンポジウム参加者の情報報告を受け、シンポジウム開催担当者との連携を図り、会員外の参加者に関しての情報を管理する。

- ・ 理事会との連携による会員管理規定内容を決定と作成

4) 今後の事業展開についての計画

- ・ 会員獲得の方法について

シンポジウム開催担当者からの報告を受けて出席者の情報を管理する。

シンポジウム参加者に対して、開催担当者が研究会の他開催シンポジウムの案内フライヤーの中に入会案内も掲載する。(但し、会員入会基準が明確必要)

会員の獲得目標値について

- ・ 研究会が活動予定や必要な資金等などもあわせ、会員獲得の目標を設定。

作成者：池田和代 中村晶子

4 2025 年度 編集担当事業計画

1) 業務名

編集担当

2) 担当理事名

武輪敬心

3) 業務実施の方針

- ・ ニュースレター（季刊）の発行
- ・ 各号 2 ないし 4 ページでウェブバージョンのみ
- ・ 各号の発行時期と掲載記事の予定

＊ 2025 年 7 月号

正副会長からの総会報告、各担当理事からの事業報告、紀要の査読員募集など

＊ 2025 年 10 月号

紀要掲載用の査読論文募集、理事・会員の研究・活動紹介など

＊ 2026 年 1 月号

各担当理事からの事業報告、会員募集、理事・会員の研究・活動紹介など

＊ 2026 年 4 月号

各担当理事からの事業報告、理事・会員の研究・活動紹介など

②査読者の募集と紀要の発行

- ・ 編集委員の決定と査読者の募集、編集・投稿規定などの決定
- ・ 投稿論文の募集、審査

投稿論文の審査をへて、紀要の発行（IT 担当理事と連携）

5) その他

特になし

＊運営方針：ニュースレターの投稿資格は会員担当の案を待って決定。紀要の投稿規定や査読委員選出の方法は、案を作成、秋までに決定。これらの規定に基づき、運営を進める。

作成者 武輪敬心

5 2025 年度 企画担当事業計画書（案）

1) 業務名

広報

2) 担当理事名

石井信夫、薮田雪子

3) 実施計画

- ・研究会の広報活動のためのデータベースを会長、副会長と連絡、協力して作成を行う。
- ・会員管理を支援して、会員募集広報を年4回程度行う。
- ・企画の要請に基づき、シンポ等の広報支援を行う。
- ・企画の要請に基づくシンポ等の参加者や編集担当の要請により投稿論文の募集支援を行う。

4) その他

なし

作成者：薮田雪子

6 2025 年度 IT 担当業務 事業計画書

1) 業務名

IT

2) 担当理事名

宮本年也、古山陽一

3) 実施計画

- ・研究会ウェブサイトの更新・運用管理
- ・研究会 FB の更新・運用管理
- ・研究会 LINE グループチャットの運用管理
- ・研究会ユーチューブの更新・運用管理
- ・オンライン交流会（奇数月）の開催
- ・研究会主催イベントをオンラインで開催する際の Zoom 操作支援
- ・研究会主催イベントをアーカイブ配信するための動画編集

4) その他

- ・Zoom の費用として、年 4 万円の予算を要請する
- ・オンライン交流会の開催業務に関しては、シンポジウム及び研究発表会の開催がコンスタントに実施され得る体制が整った時点で、終了または企画・広報担当等への委譲を検討・協議していく。

作成者：宮本年也、古山陽一

大阪市立大学共生社会研究会
2025 年度総会

第4号議案 2025年度予算案

・収入の部

項目	金額	備考
会費収入	60000	個人会員30名（2000円）
寄付など	10000	
利子	200	
小計	70200	
繰越金	332725	
合計	402925	

・支出の部

項目	金額	備考
総会準備費	0	
研修会費	20000	講師謝礼10000円、会場費5000円、印刷代5000円
zoom契約費	20000	
運営会議費用	5000	
通信費	5000	郵送費・宅急便代など
雑費	10000	
未払い(2024年度分)	24640	空元会長ご葬儀花代など
予備費	30000	
繰越金	288285	
合計	402925	

第5号議案

役員・理事選挙

以下、候補者とその抱負などです。抱負などは、選挙管理担当者に提出された文面をそのまま掲載しています。投票に当たり、ご参照ください。

会長

・候補者 柏木宏（現職）

業務実績と自己評価：2024年12月の臨時総会以降、再任または新たに就任された理事の方たちの協力を受け、研究会の運営や事業が進めてきました。特に、ウェブサイトの開設やニュースレターの発行、シンポジウム等の開催ができたことは、大きな成果だと思っています。

抱負：研究会の再建が進みつつありますが、運営については会員の増加、事業については紀要の発行が大きな課題として残っています。今年度は、これらについても形にしていければと思っています。

副会長

・候補者 田中逸郎（現職）

業務実績と自己評価：再生・リスタートする当研究会の基盤確立のため、会長を補佐しながら各理事と連携して取り組んできました。とりわけ会則等で未整備な部分について、検討を進めてまいりました。

抱負：まだまだ課題も多い中、焦らず着実に取り組んでいきたい。そのためには、各理事との情報共有・連携を深め、実りある研究体制を確立していきたい。

会計担当

・候補者 矢野裕子（現職）

業務実績と自己評価：もと指導教員の古久保先生とご一緒に会計を担当するということで、古久保先生にとっても頼っていたというのが反省の評価です。ですが、これで会計の全貌がやっとわかりましたので、2025年度はもっと頑張れると思います。

抱負：大阪市立大学共生社会の火種を残そうと何年も前、研究会を残して以来、今のこのような復興を待ち望んでいました。今後もずっと何らかの形で、研究会に貢献したいと思っています。会計以外の業務のお手伝いも積極的にしたいと思います。また、どなたかが会計に立候補されて、人数オーバーであれば、他のどのような業務でも構いません。

企画担当

・候補者 堅田利明（現職）

業務実績と自己評価：オンライン研修を企画し、司会を担当いたしました。十分な務めは出来ていませんが、他の理事の方々と協働していくことができれば幸いです。

抱負：オンラインの開催が中心となりますが、企画のアイデアを出していきたいと考えています。

候補者：金谷千慧子（かなたにちえこ・新規）

業務実績と自己評価：新規応募のため、なし

抱負：長年にわたり女性と仕事について、NPO や大学の教員などを通じて、関わってきました。共生社会研究会に入会して間もないですが、女性と NPO に関する講演やシンポジウムを開催のための企画立案、講師への依頼、参加者の募集などで、お役に立てればと思い、立候補させていただきました。

会員管理担当理事

候補者：池田和代（現職）

業務実績と自己評価：1、業務実績としては、研究会発足当初より、会員管理に関する規定が存在しておらず、この度、新体制発足になり「会員管理規定」を作成することとなったため、その素案の作成をした。また、会則との連動性のあるものとするため、現在の研究会の運営状況に照らし合わせて、会則自体を見直し（追加・変更修正点）について、必要になってくる内容を検討した。他、会員管理関係の書類の様式等の作成業務等。2、担当部署業務についての自己評価としては、今回は、半年間の短期の任期の中でもあり、理事会（運営委員会）が定期（随時）に開催することが出来なかったためもあり、会則見直し・会員管理規定作成のため、他担当理事（部署）との情報交換・連携が出来なかった。会員管理規定作成に当たっては、「管理規定」は会則に則したものでなければならず、素案に留まっているため、次年度に対しての課題としては、会則見直しと並行して慎重に検討していき、会員管理既定の完成を目標にする所存です。

抱負：1、研究会の運営の基軸となる「会則」の見直しと「会員管理規定」を仕上げる。

2、会員担当理事の業務内容を具体的（詳細）に挙げて担当業務の一元化を図りたい。

3、他部署との連携（情報交換）に努め、会員のタイムリーな正確な情報を得て年次毎の「会員名簿」を作成していきます。

4、会員の入退会に関して、会員になるための条件等に関しても「会則」及び「管理規定」の中に、その手順等も含めて位置付ける。

5、新規会員の募集に関しては、広報担当理事等との連携を深め、会員管理理事として、関係の業務に努めていきたい。

編集担当

・候補者 武輪敬心（現職）

業務実績と自己評価：ニュースレターの発行（2回）にあたっては、会長をはじめ、他

の理事たちに企画・執筆いただき、自身は校正程度しかできていません。よって、本務先の業務との兼ね合いで、十分な役割を果たせたとは言い難いです。

抱負：今回、一応、「立候補する」を選択させていただきましたが、役職の希望については、空欄にさせていただきました。マンパワーが不足し、前項目5に記載のような私でも、お役に立てるのであれば、成り手がいない役職をと思います。また、編集担当としては、今後、査読者の依頼等の業務が必要になりますが、アカデミックな人脈の面でも、適性があるかはわかりません。

広報担当理事

・候補者 藪田雪子

業務実績と自己評価：最低限のことしかできなかったの反省しています。

抱負：無理のない程度に精一杯やりたいと思っています。

IT 担当理事

・候補者 古山陽一（現職）

業務実績と自己評価：研究会ウェブサイトの開設・管理、FB 再開・管理、その他 SNS（LINE オープンチャット）の開設・管理、オンライン交流会の開催、他の理事の業務における IT 関係の支援を行った。これらの業務を通じ、本研究会における IT インフラの基盤を整えることができた。

抱負：引き続き、研究会ウェブサイトの更新・運用管理、FB の更新・運用管理、LINE グループチャットの運用管理、オンライン交流会（奇数月）の開催、研究会主催イベントをオンラインで開催する際の Zoom 操作支援等に取り組み、修了生として本会の継続・発展に貢献したい。

・候補者：宮本年也（現職）

業務実績と自己評価：IT 担当理事として、シンポジウムや交流会における機器管理を行った。研究会で管理するオンデマンド動画について、編集、発信、管理を中心的に行った。また、7月に予定されている交流会において、研究倫理について話題提供を行うべく、準備をしている。

抱負：引き続き、本研究会の運営や発信作業で用いられる IT 機器の調整や相談対応に従事し、研究会の活動に貢献したい。

監事

候補者：山崎真嗣（現職）

業務実績と自己評価：未記載

抱負：監事として、研究会の活動について、より発展していけるよう微力ながら関わって行きたいと思っています。